

1 学校教育目標

○やさしい子 ○かしこい子 ○たくましい子

2 めざす学校像、児童・生徒像、教師像

○学校像	◎やる気いっぱい やさしさいっぱい やりとりいっぱい 中川東小 ○子供たちにとって大好きな学校、未来に亘って居場所となる学校 ○教師にとってやりがいをもって教育に邁進する学校 ○保護者や地域の方々にとって誇りに思う学校
○児童・生徒像	◎やさしく かしこく たくましい子 ○誰とでも仲良く分け隔てなく接する子 ○よく考え、すすんで学ぶ子 ○心身を鍛え、様々なことに挑戦する子
○教師像	◎子供たちを愛し、子供たちを伸ばし、教育への情熱を燃やす教師 ○常に子供の心の傍にいて、一人一人の子供のよさや可能性を最大限に伸ばす教師 ○「教師は授業が命」と授業づくりに熱心に取り組む教師 ○豊かな感性としなやかな対応力をもち、人間味あふれた教師

3 学校の現状及び前年度の成果と課題

[学校の現状]

- 児童について 素直で優しい児童が多い。人とかかわる活動を楽しんで行うことができる。また、与えられた課題には一生懸命に取り組む姿が多く見られる。さらに、自ら課題を見つけ解決していく力を育てていきたい。
- 教師について 若手教員と若手を育てるベテラン教員とが共に「チーム中川東」として、児童の視点を大切にした教育活動を推進している。常に児童と共にある教師集団であり、「教師は授業が命」を合言葉に授業力向上に切磋琢磨している。
- 保護者・地域について 地域の温かさに包まれている学校である。「PTA」「開かれた学校づくり協議会」等を中心に、積極的に教育活動に協力いただいている。令和元年度の創立40周年記念事業の大成功が、学校・保護者・地域の一体感をより一層強くしている。

[前年度の成果と課題]

- 教員の授業力向上を通して、児童の学力向上を図る。
校内研究・管理職による授業観察・教科指導専門員による訪問指導・教員同士の授業の見合い等を通して、常に授業をオープンにして授業研究に努めることで授業力向上が図られてきた。また、花丸教室（放課後補習教室）・そだち指導等では個に応じた指導を充実させた。区学力調査（目標通過率78.6%）の分析を行い、習熟できていない部分に特化して重点的に指導を徹底した。自学ノートの活用を働きかけ、調べる力・まとめる力等を伸ばすことができた。新しい文章を読み解く力は依然として課題。基礎基本の定着とともに「主体的・対話的で深い学び」に向けた授業改善に努める。
- 児童が安心して学べる教育環境を整える。
コロナ禍であっても「一人一人を大切にする教育」により一層力を注いできた。制約のある中ではあったが、人とかかわる楽しさを存分に味わわせ

ることで本校の特色を発揮した。工夫を凝らして各学校行事を行い、児童の自己肯定感につなげることができた。いじめの早期発見・早期解決にも努め、いじめ解決率は100%である。年2回のHyperQ-U検査を活用し、より温かく高め合える集団づくりに努めた。創立43周年を迎える本校がいつまでも児童の居場所となるように、今後も教育活動を力強く推進する。創立40周年のレガシーを生かし、教育環境をさらに充実させていく。

○保護者や地域と共に児童を育む学校づくりを進める。

常に保護者や地域と連携をとる必要性が高まり、学校メール（登録率100%達成）やホームページによる情報発信が質量ともに大幅に伸びた。PTA活動の替わりとしての登校見守りの旗振りもすっかり定着し、そこで生まれる会話からも信頼関係を築くことができた。保護者や地域とのコミュニケーションが深まり、心の通った連携が築かれつつあることを手ごたえとして感じている。忙しく働いている家庭が多い中、「共に育てていく」という土壌を耕し、保護者・地域と心をつなげた学校経営を行っていく。今年度は是非とも児童の生き生きと活動する姿をたくさんお見せしたい。

4 重点的な取組事項

	内 容	実施期間（年度） R:令和				
		R2	R3	R4	R5	R6
1	学力向上アクションプラン～教員の授業力向上を通して、児童の学力向上を図る～	○	○	○	○	○
2	児童が安心して学べる教育環境を整える。	○	○	○	○	○
3	保護者や地域と共に児童を育む学校づくりを進める。	○	○	○	○	○
4						

5 令和3年度の重点目標

重点的な取組事項－１		学力向上アクションプラン							
A　今年度の成果目標		達成基準 (目標通過率)		実施結果 (通過率結果)		コメント・課題		達成度 ◎○△●	
児童の学力向上を図る。		令和４年度区学力調査 目標通過率 80％以上 2 月実施の定着度確認テスト で目標値を通過する対象児童 80％		自己評価の際に記入					
B　目標実現に向けた取組み									
新・継	アクション プラン	対象・ 実施教科	頻度・ 実施時期	具体的な取り組み内容 (誰が、何を、どのように)	達成確認 方法	達成目標 (＝数値) (いつ・何を・どの程度)	実施結果	コメント・課題	達成度 ◎○△●

改善	ICT 機器の活用	全学年 全教科	毎日 (家庭 学習も 含む。) 通年	ICT 機器を活用した主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善を行う。 ・双方向型の一斉授業充実 ・リアルタイムの考え共有 ・調べ学習の充実 ・A I ドリルの活用 ・『ICT 活用実践事例集』第 2 弾の作成・活用	児童アンケート 教員アンケート タイピングテスト	・1 日 1 回タブレットを用いた授業を実施した教員 90% 以上 ・週 2～3 回の家庭への持ち帰り			
改善	校内研究による教員の授業力向上	全教員・ 全児童 国語算数 道徳	研究授業(6 回) 研 究 発 表 会 (「開 かれた学 校づくり 協議会」・ 近 隣 小 学 校へ)	学力向上に直結する教員の授業力向上を図る。 ・「主体的・対話的で深い学び」に向けた授業改善 ・話し合い・交流で自分の考えを深める授業展開 ・児童の発表の場の設定 ・書く力の育成(全国学力)週 1 回 100 文字作文	児童アンケート 教員アンケート 全国学力調査 都・区学力調査	・R4 全国学力調査にて記述式無答率 0% ・区学力調査にて目標通過率 80% 以上			
継続	読書環境の充実	全教員・ 全児童 国語 図書 総合	年 3 回の 読書月 間 通年	読書環境の充実を図り、本にすぐ手を伸ばす子を育てる。 ・国語関連図書の充実 ・「調べる学習コンクール」への応募 ・ビブリオバトルの実施 ・本の展示を中心に据えた教室環境	読書量調査 コンクールへの 応募数	・読書量調査で目標を達成する児童 90% 以上			
継続	家庭学習の徹底	全学年 全教科 主に国語 と算数 自主学習 (3 年生 以上)	毎日 キャン ペーン は 年 10 回	授業の充実・個に応じた指導・家庭学習の徹底は学力向上のトライアングル。より一層の家庭学習の徹底を図り、学力向上につなげる。 ・年 10 回の「家庭学習キャンペーン」の実施 ・自主学習の取り組み強化 - 児童・保護者の意識向上 ・自学ノートコンクール	宿題提出状況 調査 年 3 回 自学ノートの点 検・相互評価	・宿題提出率 100% ・自主学習提出率 90% ・学校評価アンケート 肯定的回答 90% 以上			

継続	花丸教室 (放課後 補習教室)	全学年 目標値を 達成して いない児 童 正答率 75%未満 国語と算 数	毎週 火・木曜 日 放 課 後 30 分間	一人一人のつまずきに応じ た個別指導を徹底し、苦手意 識の早期解消を図り学習意 欲を喚起する。 ・全教員による全校体制 ・教材は、プリント・ベーシ ックドリル・『論理エンジ ン』を使用 ・学力ポートフォリオによる 指導内容の精選	定着度確認テ スト(2月実施) 教員自己評価 アンケート	・定着度確認テ ストで目標値 を通過する 対象児童 80% ・教員自己評価 肯定的回答 85%以上			
継続	パワーアッ プタイム (朝学習)	全学年 国語算数	毎週 火・水曜 日 始 業 前 15 分間	反復練習により学習内容の 基礎基本の定着を図る。 ・一日の学習のリズミカルな スタートの習慣化 ・5分間で取り組める読解問 題中心の教材を活用 ・主に担任と副担任で行う。	毎回のドリルの 自己採点・記録	・毎回のドリル の正答率 85%以上			

重点的な取組事項－２		児童が安心して学べる教育環境を整える。			
A 今年度の成果目標		達成基準	実施結果	コメント・課題	達成度
児童にとって安全・安心な学校生活を確立する。		学校評価アンケート「安全・安心に関する項目」：肯定的回答 90%以上			
B 目標実現に向けた取組み					
項目	達成基準	具体的な方策	実施結果	コメント・課題	達成度

子供の心を育てる 教育活動の充実	「生活指導・特別活動に関する項目」： 肯定的回答 90%以上	・人権尊重教育の徹底 ・「人とかかわる活動」の意図的・組織的展開 ・縦割り班活動の充実 ・気持ちのよい挨拶の徹底			
いじめのない学校生活の充実	いじめ解決率 100%	・いじめを許さない校風醸成 ・いじめの起こらない学年・学級経営 ・HyperQ-U 検査の活用 (年2回) ・早期発見・早期解決			
安全・安心な学校の整備	「学校施設の安全に関する項目」： 肯定的回答 90%以上	・日々の施設点検の徹底 ・創立 40 周年レガシー堅持 ・花があふれる環境づくり			

重点的な取組事項－ 3		保護者や地域と共に児童を育む学校づくりを進める。			
A 今年度の成果目標		達成基準	実施結果	コメント・課題	達成度
保護者や地域との連携を図り、共に児童を育む教育活動を充実する。		学校評価アンケート「家庭や地域との連携に関する項目」：肯定的回答 90%以上			
B 目標実現に向けた取組み					
項目	達成基準	具体的な方策	実施結果	コメント・課題	達成度

保護者との共育体制の確立	学校公開参観率 85%以上 学校行事参観率 95%以上 登下校見守り参加率 90%以上	・授業公開・学校行事の内容の充実、参観率の向上 ・通信・HP・学校メール等による情報発信の充実 ・登下校見守りによる双方向の情報共有			
「開かれた学校づくり協議会」を中心とした地域との連携強化	「家庭や地域との連携に関する項目」：肯定的回答 90%以上	・創立 43 周年の歩みの共有 ・協議会活動内容の情報発信 ・地域人材の新規発掘及び連携強化 ・避難所開設・運営における協力体制の強化			
子供の夢を育む周辺教育施設との連携強化	「幼保小中高との連携に関する項目」：肯定的回答 90%以上	・こども園・保育園との日常的交流の充実 ・小中連携の強化（学びのスタイルや自学の統一） ・足立東高との連携の再興（吹奏楽・陸上・挨拶等）			

6 まとめ

（１）今年度の成果と次年度に向けた課題及び解決の方向性

(2) 保護者や地域へのメッセージ

(3) その他（学校教育活動全般について）